

本資料は、アストラゼネカ本社 AstraZeneca PLC が 2023 年 4 月 27 日に発表した、[2023 年第 1 四半期業績発表プレスリリース](#)を抜粋し、日本語に翻訳したものです。発表の内容及び解釈については英語本社発表版が優先します。

2023 年第 1 四半期業績

～安定した売上収益と COVID-19 医薬品¹を除いた場合 15%の成長を記録したことにより、好調な年度をスタート～

収益および EPS の概要

	2023 年第 1 四半期		
	増減 (%)		
	100 万ドル	実質	CER ²
製品売上	10,566	(4)	1
提携収益 ³	286	88	90
協業収益 ³	27	(89)	(89)
売上収益	10,879	(4)	-
売上収益 (COVID-19 を除く)	10,725	10	15
報告ベース ⁴ EPS ⁵	\$1.16	>4x	>4x
コア ⁶ EPS	\$1.92	1	6

財務業績

(*注記がない限り、2023 年第 1 四半期の数値、伸び率は恒常為替レート (CER) ベース)

- COVID-19 医薬品の収益が 14 億 6,000 万ドル減少したにもかかわらず、売上収益は 108 億 7,900 万ドルで安定
- COVID-19 医薬品を除くと、売上収益は 15%増加し、製品売上は 16%増加
- オンコロジー医薬品による売上収益は 19%増、CVRM は 722%増、R&I は 8%増、希少疾患は 14%増
- コア売上総利益率は、利益率の低い COVID-19 製品の売上減少、過年度の生産コスト、およびより専門性の高い製品へのミックスシフトを反映し、4 パーcentageポイント増の 83%
- コア営業利益率は、米国でのパルミコート・フレックスヘイラーの権利の売却による利益を含むコアのその他営業利益 2 億 2,000 万ドルの増加を反映し、1 パーcentageポイント増の 36%
- コア EPS は 6%増の 1.92 ドル
- 2023 年度売上収益およびコア EPS のガイダンスの再掲

最高経営責任者 (CEO) パスカル・ソリオのコメント

「2023 年、アストラゼネカは好調なスタートを切り、COVID-19 医薬品を除く売上収益は 15%増加しました。当社の新興市場における業績は特に堅調でした。私は、中国で見られるイノベーションの成長とスピードに感銘を受けていますが、このことは、中国における当社の主導的なプレゼンスの競争優位性が際立ったものであることを示しています。

当社のパイプラインは、卵巣がんにおけるリムパーザとイミフィンジの併用、肺がんにおけるイミフィンジ、および様々ながん種におけるエンハーツの有望な新データに関する第 III 相試験の肯定的な結果により、勢いを維持しています。さらに、年度開始から今日までに新たに 6 件の第 III 相試験を開始しており、2023 年中に 30 件を開始する予定です。

最後に、レイフ・ヨハンソンの取締役会会長時代の卓説したリーダーシップと、当社の成長戦略への軌道復帰貢献したことに対し感謝したいと思います。レイフは私の素晴らしいパートナーでしたので、新会長のミシェル・デマレとも同様に強力なパートナーシップを築いていくことを期待しています。

前回の業績発表以降の主なマイルストーン

- 主な試験結果：卵巣がん（DUO-O）におけるリムパーザおよびイミフィンジ、NSCLC⁹（AEGEAN）におけるイミフィンジ、および複数の腫瘍型（DESTINY-PanTumor02）におけるエンハーツの肯定的な結果。タグリツンは、NSCLC（ADAURA）において全生存期間における統計学的に有意な改善を示した
- 主な薬事承認：HCC¹⁰（HIMALAYA）および NSCLC（POSEIDON）におけるイミフィンジおよびイジウド、カルケンスにおけるマレイン酸塩錠剤の剤形追加に対する EU の承認、並びに NMOSD¹¹におけるユルトミリスに対する CHMP の積極的推奨。HER2 陽性¹²乳がん（DESTINY-Breast03）におけるエンハーツ、およびマントル細胞リンパ腫におけるカルケンスに対する中国での承認

2023 年 4 月 11 日に発表しました通り、2023 年第 2 四半期のアストラゼネカの業績には、ニルセビマブ¹³に関する契約関係の更新に起因するコアのその他営業利益における 7 億 1,800 万ドルの利益が含まれます。

ガイダンス（業績予想）

2023 年度のガイダンスは、2022 年までの平均為替レートを
基にした CER ベースで再度発表しました。

売上収益は 1 桁台前半から半ばのパーセンテージの増加が見込まれる。

COVID-19 医薬品を除くと、売上収益は 2 桁台前半の増加を見込む。

- コア EPS は 1 桁台後半から 2 桁台前半増加の見込み
- 予測は困難であるものの、COVID-19 医薬品（バキスゼブリア¹⁴ および COVID-19 モノクローナル抗体¹⁵）の売上収益は、2023 年度には大幅に減少し、バキスゼブリアの収益はごくわずかとなると予想される
- 中国での売上収益は、2023 年度には増加に転じ、1 桁台前半のパーセンテージの増加となる見込み
- 提携収益および協業収益は、提携医薬品の継続的な成長およびマイルストーンごとの成功報酬により、いずれも増加¹⁶する見込み
- その他営業利益は増加する見込み
- コア営業費用は、最近の上市への投資、およびパイプラインの成功後の新規試験の開始により、1 桁台前半から半ばの増加を見込む
- コア税率は 18-22%を想定

当社は、買収関連負債に生じる公正価値調整、無形資産減損費用、訴訟和解引当金など報告ベースの業績の重要な要素を信頼性をもって予測できないため、報告ベースのガイダンスを提供することはできません。

為替の影響

仮に 2023 年 4 月から 12 月までの為替レートが 2023 年 3 月の平均レートで推移した場合、2023 年度の売上収益および 2023 年度のコア EPS は、いずれも CER ベースの業績に対して 1 桁台前半の悪影響を受けると想定しています。

Table 1 : 2023 年第 1 四半期売上収益のパフォーマンスの主要要素

収益項目	100 万ドル	増減 (%)		
		実質	CER	
製品売上	10,566	(4)	1	4%の減少（CER ベースでは 1%の増加）は COVID-19 医薬品の売上減少の影響による - オンコロジー、CVRM、R&I および希少疾患が力強く成長
提携収益	286	88	90	- エンハーツが 2 億 2,000 万ドル（2022 年第 1 四半期：7,600 万ドル） - テゼスパイアが 4,300 万ドル（2022 年第 1 四半期：300 万ドル） - 詳細は Table 6 を参照
協業収益	27	(89)	(89)	- 当四半期における リムパーザによる売上または薬事上のマイルストーンはなし（2022 年第 1 四半期：1 億 7,500 万ドル） - 詳細は Table 7 を参照
売上収益	10,879	(4)	-	COVID-19 医薬品を除くと 2023 年第 1 四半期の売上収益は 10%（CER ベースでは 15%）増加

治療領域	100 万ドル	増減 (%)		
		実質	CER	
オンコロジー	4,148	14	19	- 主要医薬品および地域において好調な業績を達成 - 当四半期における リムパーザによる売上または薬事上のマイルストーンはなし（2022 年第 1 四半期：1 億 7,500 万ドル）
CVRM ⁶	2,557	15	22	フォシーガは 32%（CER ベースでは 39%）増、ロケルマは 56%（CER ベースでは 64%）増、ロキサデュスタットは 52%（CER ベースでは 66%）増、ブリリンタは 3%（CER ベースでは 5%）増
R&I	1,633	3	8	- ファセンラは 10%（CER ベースでは 13%）増、ビレーズトリは 67%（CER ベースでは 73%）増。サフネローとテゼスパイアは、上市段階において急成長中 - 協業収益はゼロ（2022 年第 1 四半期：トラロキヌマブのマイルストーン関連で 7,000 万ドル）
V&I ¹⁷	355	(80)	(79)	- COVID-19 モノクローナル抗体から 1 億 2,700 万ドル（2022 年第 1 四半期：4 億 6,900 万ドル） - バキスゼブリアから 2800 万ドル（2022 年第 1 四半期：11 億 4,500 万ドル）
希少疾患 ⁶	1,866	10	14	- ユルトミリスは 55%（CER ベースでは 61%）増加するも、ソリリスの 16%（CER ベースでは 13%）の減少により相殺 - ストレンジックは、患者需要の強さと販売地域拡大を反映して 26%（CER ベースでは 28%）増
その他医薬品	320	(26)	(21)	
売上収益	10,879	(4)	-	

		増減 (%)		
COVID-19 を含む 地域別売上	100 万ドル	実質	CER	
米国	4,299	4	4	
新興市場	3,162	(6)	1	• 成長率は COVID-19 医薬品の売上減少が影響（COVID-19 を除く数値は以下に記載）
- 中国	1,602	(1)	8	
- 中国以外の新興市場	1,560	(10)	(6)	
欧州	2,162	(5)	-	
既成市場（RoW）	1,256	(22)	(12)	
COVID-19 を含む 売上収益	10,879	(4)	-	

		増減 (%)		
COVID-19 を除く 地域別売上	100 万ドル	実質	CER	
米国	4,299	15	15	
新興市場	3,136	14	22	
- 中国	1,602	2	11	• CER ベースで 3 四半期連続の成長。 • COVID-19 の制限解除を受け、吸入製品が回復
- 中国以外の新興市場	1,534	31	38	• 希少疾患の入札注文のタイミング
欧州	2,148	3	9	
既成市場（RoW）	1,142	(5)	7	
COVID-19 を除く 売上収益	10,725	10	15	

Table 2 : 2023 年第 1 四半期の財務パフォーマンスの主要要素

メトリクス	報告ベース	報告ベース 増減	コア	コア増減	コメント ¹⁸
売上収益	108 億 7,900 万 ドル	実質 -4% CER は安定 的	108 億 7,900 万 ドル	実質 -4% CER は安定的	- COVID-19 医薬品を除くと、2023 年第 1 四半期の売上収益は 10%（CER ベースでは 15%）増加 - 詳細は、本書の Table 1 および売上収益の項を参照
売上 総利益率 ¹⁹	82%	実質 14pp CER 14pp	83%	実質 4pp CER 4pp	+ オンコロジーおよび希少疾患医薬品の売上構成比の上昇 + バキスゼブリアの売上構成比の低下 - 利益分配契約による製品構成比の上昇 • 製品の季節性、為替変動、コストインフレおよびその他の影響により、期間による売上総利益率の変動が予想される
研究開発費	26 億 1,100 万 ドル	実質 22% CER 28%	23 億ドル	実質 5% CER 10%	+ パイプラインへの投資の増加 + 報告ベースの研究開発費は、2023 年第 1 四半期の無形資産の減損および 2022 年第 1 四半期の減損の戻し入れも影響 • コア研究開発費の対売上収益比率は 21%（2022 年第 1 四半期：19%） • 前年同期比は、コストフェーズの違いの影響を受ける可能性がある
販売費 および 一般管理費 (SG&A)	40 億 5,900 万 ドル	実質 -16% CER -13%	30 億 5,400 万 ドル	実質 4% CER 8%	+ 最近の上市に向けた市場開拓活動 + コア SG&A 対売上収益比率は 28%（2022 年第 1 四半期：26%）

					2022年第1四半期の報告ベース SG&A には、中外製薬株式会社との法的和解に関する7億7,500万ドルの費用が含まれる - 前年同期比は、コストフェーズの違いの影響を受ける可能性がある
その他営業利益 ²⁰	3億7,900万ドル	実質 >3x CER >3x	3億1,800万ドル	実質 >3x CER >3x	報告ベースおよびコアのその他営業利益には、パルミコート・フレックスヘイラーの米国の権利の売却による2億4,100万ドルの利益が含まれる
営業利益率	23%	実質 16pp CER 16pp	36%	実質 2pp CER 1pp	上記の売上総利益率、費用およびその他営業利益のコメントを参照
金融費用純額	2億8,700万ドル	実質 -10% CER -8%	2億4,000万ドル	実質 -4% CER -3%	- 現金残高に対する受取利息は上昇するも、流動負債および社債発行の利息上昇により一部相殺 - 報告ベースの数値は、買収関連負債の割引戻しの減少も影響
税率	20%	実質 -10pp CER -10pp	20%	実質 -1pp CER -1pp	期間による税率の変動が予想される
EPS	1.16 ドル	実質 >4x CER >4x	1.92 ドル	実質 1% CER 6%	報告ベースとコアとの差異の詳細は Table 13 に示す

Table 3 : 前回の決算発表以降のパイプラインのハイライト

イベント	医薬品	適応症/治験	イベント
薬事承認 およびその他の 薬事案件	イミフィンジ+/- イジユド	NSCLC (1次治療) (POSEIDON)	薬事承認 (欧州)
	イミフィンジ+ イジユド	肝細胞がん (1次治療) (HIMALAYA)	薬事承認 (欧州)
	エンハーツ	HER2 陽性乳がん (2次治療) (DESTINY-Breast03)	薬事承認 (中国)
	カルケンス	マレイン酸塩錠剤の剤形追加	薬事承認 (欧州)
	カルケンス	マントル細胞リンパ腫	薬事承認 (中国)
	ユルトミリス	NMOSD	CHMP の肯定的見解 (欧州)
薬事承認申請 又は受理	イミフィンジ	胆道がん (TOPAZ-1)	薬事承認申請 (中国)
	エンハーツ	HER2 乳がん (3次治療) (DESTINY-Breast02)	薬事承認申請 (欧州)
	Beyfortus	RSV ²¹ (MELODY/MEDLEY)	薬事承認申請 (日本)
	eplontersen	ATTRv-PN ²² (NEURO-TTRransform)	薬事承認申請 (米国)
	ダニコパン	EVH を伴う PNH	薬事承認申請 (欧州)
主な第 III 相 試験結果等	リムパーザ+イミ フィンジ	卵巣がん (1次治療) (DUO-O)	主要評価項目達成
	イミフィンジ	NSCLC (術前補助療法) (AEGEAN)	2つの主要評価項目達成

その他のパイプライン更新

NASH における cotadutide の連日投与製剤の第 II/III 相試験は、ポートフォリオの優先順位付けにより中止されました。GLP-1/グルカゴンの週 1 回注射剤である AZD9550 の開発が続いています。

ウィルソン病における ALXN1840 プログラムは、4 月に終了しました。この決定は、第 III 相 FoCus 試験および 2 つの第 II 相メカニズム試験を含む、ウィルソン病プログラムによるデータのレビューに対する規制当局からのフィードバックに基づいて行われました。

Table 4 : 2023 年 1 月 1 日以降に開始された新たな第 III 相試験

医薬品	試験名	適応症
datopotamab deructucan	AVANZAR	NSCLC（1 次治療）
	TROPION-Lung07	非扁平上皮 NSCLC（1 次治療）
カミゼストラント	CAMBRIA-1	HR 陽性 ²³ /HER2 陰性アジュバント乳がん
テゼスパイア	CROSSING	好酸球性食道炎
AZD3152	SUPERNOVA	COVID-19 の予防
ユルトミリス	ARTEMIS	心臓手術関連の急性腎障害

コーポレートおよび事業開発

当第 1 四半期に、アストラゼネカは、以前発表した CinCor Pharma Inc.（CinCor）および Neogene Therapeutics Inc.の買収、並びに Cheplapharm に対するパルミコート・フレックスハイラーの米国商権の売却を完了しました。

アストラゼネカは、SOPHiA GENETICS との協業を拡大し、そのマルチモーダル技術および専門知識をアストラゼネカのオンコロジーポートフォリオに対し反映しました。マルチモーダルのアプローチは、医療画像データ、分子データ、デジタル病理学、臨床および生物学的データの放射線学的解析を組み合わせ、マルチモーダルの特性をより包括的に評価します。

2023 年 3 月、アストラゼネカは、ビレーズトリ加圧式定量吸入器の生産・供給拠点を中国に構築するため、青島ハイテク産業開発区と投資契約を締結しました。青島工場は、同国で増加する COPD の負担に対処します。中国には約 1 億人の COPD 患者がおり、COPD は同国の死因第 3 位です。

2023 年 4 月、アストラゼネカと Swedish Orphan Biovitrum AB（Sobi）との間の、将来の米国でのニルセビマブの販売に関する契約関係は、サノフィと Sobi との間のロイヤリティ関係に置き換えられました。その結果、Sobi に対するアストラゼネカの将来の義務を示す債務はアストラゼネカの財政状態計算書から除外され、アストラゼネカは、2023 年第 2 四半期のコアのその他営業利益に 7 億 1,800 万ドルの利益を計上することになります。

サステナビリティの概要

アストラゼネカは、2022 年 TCFD²⁴ 報告書および関連するケーススタディとともに、第 9 回サステナビリティ報告書およびデータ概要を公表しました。また、アストラゼネカは、年次の株主向けサステナビリティコールを主催し、当社の柱である「医療へのアクセス」、「環境保全」、「倫理と透明性」を実現するための継続的なコミットメントを改めて表明しました。コールの記録および添付資料は、アストラゼネカの IR ウェブサイトで入手できます。

経営幹部の交代

既にお知らせしました通り、レイフ・ヨハンソンは、本日 2023 年 4 月 27 日の当社年次総会の終了をもって、会長を退任します。ミシェル・デマレの会長への任命は、レイフの退任後直ちに効力を発し、ミシェルは監査委員会の委員を退任します。

営業および財務の概況

本セクションの成長および業績に関する説明はすべて実際の為替レートに基づいており、財務数値は特に断りのない限り、百万米ドル単位で記載されています。別段の記載がない限り、本発表で示された業績は、2022年3月31日までの3カ月間（「2022年第1四半期」）と比較した2023年3月31日までの3カ月間（「当四半期」又は「2023年第1四半期」）の業績を対象としています。

コア財務指標である EBITDA、純負債、売上総利益率、営業利益率および CER は、当社グループの中間財務諸表から直接算出できないため、非 GAAP 財務指標となります。経営陣は、これらの非 GAAP 財務指標は、報告ベースの業績と合わせて提供することにより、投資家やアナリストに、当社グループの財務業績や状況を時系列で比較しながらより良く理解するための有益な補足情報を提供すると考えています。これらの非 GAAP ベースの財務指標は、GAAP に準拠して作成された財務指標に代わるものでも、優越するものでもありません。

コア財務指標は、以下のような特定の重要な項目を除外するよう調整されています。

- 無形資産の償却および減損（減損の戻し入れを含むが IT 資産に関連する費用を除く。）
- 構造改革プログラムに関連する費用および引当金（構造改革プログラムが資産化された IT 資産に及ぼす影響に関連する費用を含む。）
- アレクシオン社買収関連項目（主に買収した棚卸資産の公正価値調整と従業員株式報酬の差し替えによる公正価値の影響）
- その他の特定項目（主に企業結合又は資産取得の偶発対価、法的和解、およびその他の支払債務に関連する再測定調整に関連する帰属金融費用および公正価値変動）
- 上記の調整による税効果は、コア税金費用から除外されています。

コア財務指標の性質に関する詳細は、[アニュアルレポートおよび Form 20-F Information 2022](#) の 62 ページに記載されています。

本発表の財務業績の項に記載されている報告ベースの財務指標とコア財務指標の調整表を参照してください。

売上総利益は、製品売上が売上原価を上回る割合であり、両社の差を売上で除して計算されます。報告ベースの売上総利益率およびコア売上総利益率の計算では、提携収益、協業収益および関連費用の影響は除外されており、それにより製品売上の基礎的な業績が反映されています。

EBITDA は、合併会社および関連会社から生じたネット金融費用並びに減価償却費および減損費用を控除した報告ベースの税引前利益と定義されています。本発表の財務業績の項に記載されている報告ベースの税引前利益と EBITDA の調整表を参照してください。

純負債は、現金および現金同等物、その他の投資、並びに金融派生商品の純額を差し引いた有利子負債およびリース負債と定義されています。本発表の中間財務諸表の注記 3「ネット借入」をご参照ください。

当社は、投資家およびアナリストの皆様が単一の財務指標に依存することなく、アストラゼネカの財務諸表（その注記を含む）およびその他の利用可能な当社報告書を注意深く全体的に検討されることを強くお勧めします。

四捨五入の関係で、本発表におけるいくつかのドル数値およびパーセンテージの合計は一致しない場合があります。

売上収益

Table 5 : 治療領域および医薬品別業績

	2023 年第 1 四半期			
			増減 (%)	
製品売上	100 万ドル	対合計(%)	実質	CER
オンコロジー	3,920	36	16	21
- タグリッソ	1,424	13	9	15
- イミフィンジ ²⁵	900	8	50	56
- リムパーザ	651	6	5	10
- カルケンス	532	5	28	31
- エンハーツ	37	-	>3x	>3x
- Orpathys	8	-	(33)	(27)
- ゴラデックス	227	2	(6)	3
- フェソロデックス	75	1	(19)	(11)
- その他	66	1	(32)	(27)
バイオ医薬品 : CVRM	2,530	23	15	21
- フォシーガ	1,299	12	30	37
- プリリント	334	3	3	5
- ロケルマ	98	1	56	64
- ロキサデュスタット	61	1	49	63
- オンデキサ	44	-	34	42
- クレストール	305	3	14	23
- セロケン/Toprol-XL	179	2	(27)	(20)
- オングリザ	63	1	(8)	(3)
- ビデュリオン	45	-	(33)	(32)
- その他	102	1	4	9
バイオ医薬品 : R&I	1,583	15	5	10
- シムビコート	688	6	2	7
- ファセンラ	338	3	10	13
- ビレーズトリ	144	1	67	73
- サフネロー	47	-	>4x	>4x
- テゼスパイア	11	-	n/m	n/m
- パルミコート	221	2	2	9
- ビベスピ	15	-	(1)	2
- Daliresp/Daxas	13	-	(75)	(75)
- その他	106	1	(27)	(22)
バイオ医薬品 : V&I	355	3	(80)	(78)
- COVID-19 モノクローナル抗体	127	1	(73)	(70)
- バキスゼブリア	28	-	(97)	(97)
- シナジス	198	2	(1)	5
- フルミスト	2	-	n/m	n/m
希少疾患	1,866	17	10	14
- ソリリス	834	8	(16)	(13)

- ユルトミリス	651	6	55	61
- ストレンジック	262	2	26	28
- コセルゴ	79	1	>2x	>2x
- カヌマ	40	-	4	6
その他医薬品	312	3	(26)	(21)
- ネキシウム	244	2	(27)	(20)
- その他	68	1	(26)	(23)
製品売上	10,566	97	(4)	1
提携収益	286	3	88	90
協業収益	27	-	(89)	(89)
売上収益	10,879	100	(4)	-

Table 6 : 提携収益

	2023 年第 1 四半期			
	100 万ドル	対合計(%)	増減 (%)	
			実質	CER
エンハーツ	220	77	>2x	>2x
テゼスパイア	43	15	n/m	n/m
バキスゼブリア: ロイヤリティ	-	-	n/m	n/m
その他ロイヤリティ収入	20	7	23	24
その他提携収益	3	1	>3x	>3x
合計	286	100	88	90

Table 7: 協業収益

	2023 年第 1 四半期			
	100 万ドル	対合計(%)	増減 (%)	
			実質	CER
フォシーガ: 販売マイルストーン	24	89	n/m	n/m
その他協業収益	3	11	(76)	(76)
合計	27	100	(89)	(89)

Table 8 : 治療領域別売上収益

	2023 年第 1 四半期			
	100 万ドル	対合計(%)	増減 (%)	
			実質	CER
オンコロジー	4,148	38	14	19
バイオ医薬品	4,545	42	(19)	(15)
- CVRM	2,557	24	15	22
- R&I	1,633	15	3	8
- V&I	355	3	(80)	(79)
希少疾患	1,866	17	10	14
その他医薬品	320	3	(26)	(21)
合計	10,879	100	(4)	-

Table 9 : 地域別売上収益

	2023 年第 1 四半期			
	100 万ドル	対合計(%)	増減 (%)	
			実質	CER
米国	4,299	40	4	4
新興市場	3,162	29	(6)	1
- 中国	1,602	15	(1)	8
- 中国以外	1,560	14	(10)	(6)
欧州	2,162	20	(5)	-

既成市場 (RoW)	1,256	12	(22)	(12)
合計	10,879	100	(4)	-

Table 10 : 地域別売上収益 (COVID-19 医薬品を除く)

	2023 年第 1 四半期			
	100 万ドル	対合計(%)	増減 (%)	
			実質	CER
米国	4,299	40	15	15
新興市場	3,136	29	14	22
- 中国	1,602	15	2	11
- 中国以外	1,534	14	31	38
欧州	2,148	20	3	9
既成市場 (RoW)	1,142	11	(5)	7
合計	10,725	100	10	15

サステナビリティ

医療へのアクセス

- Partnership for Health System Sustainability and Resilience (PHSSR : 保健医療システムの持続可能性と強靱性を向上するためのパートナーシップ) は、ベルギー、アイルランドおよびオランダで各国のレポートを発表し、これらの国で開催されたイベントで主要な調査結果を発表しました。PHSSR はまた、主要なステークホルダーと協力し、ドイツでも医療システムの持続可能性に関する指標を発表しました。アストラゼネカは、現在、世界 30 カ国以上で活動している PHSSR の創設メンバーであり、6 つのグローバルパートナーの 1 つです。
- アストラゼネカが 30 年にわたり業界のリーダーとして歴史的基盤を持つ中国において、政府およびヘルスケアエコシステムと連携することで、同国におけるヘルスケアイノベーションを強化しました。当社は、CEO のパスカル・ソリオが出席したイベントにおいて、以下の発表を行いました。
 - 青島市に、中国の COPD 患者のためのビレーズトリ加圧式定量吸入器 (pMDI) の製造工場建設のための新たな投資を行います。現地投資は、非常に重要なアンメットニーズを満たすものです。中国の患者さんの人生を変革する医薬品へのアクセスを向上させ、中国の医療制度に対する COPD の負担を軽減します。
 - 山東省とのパートナーシップにより、革新的な希少疾患の診断・治療拠点を設立します。
 - 中国の農村部を活性化するために中国赤十字財団とのパートナーシップを通じて、3,000 万人民币元の投資を行い、保健サービスの向上と、災害救援を支援します。
- 既に活動を開始していた 9 カ国に加え、2024 年までに計画された新規 10 カ国中 8 カ国において、実施パートナーである ACHAP および PATH と協力して Healthy Heart Africa プログラムを開始しました。2015 年の開始以来、3,400 万回以上の血圧スクリーニングが実施されており、2 月だけでも 100 万回以上実施されています。また、2023 年 2 月末現在までに 10,600 人以上の医療従事者がトレーニングを受けています。
- カナダ、フランス、イタリア、イスラエル、スウェーデンの 5 カ国において「ヤングヘルスプログラム」を継続することとしました。39 カ国で、70 万人以上の若者に健康情報を直接提供し、35,000 人以上の若者や医療従事者らにトレーニングを行いました。
- 20 以上のヘルスイノベーションハブから成る、アストラゼネカの有機的なダイナミック・グローバルネットワークである A.Catalyst Network が、この度アフリカで発足しました。このアフリカでのヘルスイノベーションハブは、死亡率の低下と患者さんの生活の質向上を目的に、疾患教育、早期診断、テクノロジーとデータの生成にフォーカス

します。当社はまた、乳がんの迅速な検出のための最先端の Wi-Fi 超音波探触子「Melusi Breast AI」の開発に向けて、MedSol Ai Solutions とパートナーシップを締結しました。

環境保全

- CEO のパスカル・ソリオは、2023 年 3 月に持続可能な市場のためのイニシアチブ（SMI）のヘルスシステムタスクフォースを招集し、医薬品サプライヤーに向けた気候と持続可能性に関する共同の最低目標を発表しました。これは、バリューチェーン全体における温室効果ガス排出量に対処し、複数の要件を持つサプライヤーの複雑さを軽減するものです。
- スコープ 3 の間接的な温室効果ガス排出量の削減に対する当社のコミットメントは、2025 年末までに、購入した商品・サービス・資本財を対象とする支出額の 95% のサプライヤーと、上流の輸送・流通・出張を対象とする支出額の 50% のサプライヤーが、科学的根拠に基づく目標を持つという目標により示されています。アストラゼネカはまた、3 月に CDP より 2022 Supplier Engagement Rating Leader として認定されました。
- 2023 年国連水会議と同時期に開催された、「水に対するアクションの加速に向けたビジネス・リーダーによる呼びかけ」に対しコミットしました。当社の取り組みは、WWF とのパートナーシップと Alliance for Water Stewardship への加盟により支えられています。アストラゼネカは、優先順位の高い 100 の水域に重点を置き、水に対するレジリエンスを向上するため、サプライヤーとセクター横断的に協力します。当社は 2024 年から、事業を展開するコミュニティにおいて自然再生・水資源保護プロジェクトに年間 500 万ドルを投資します。詳細は、2022 年サステナビリティ報告書およびデータ概要とともに発行された生物多様性に関する声明に記載されています。
- 国連「国際森林デー」を記念して、AZ Forest の歩みを振り返りました。AZ Forest は、森林景観の再生に重点を置いた専門的なパートナーとの提携や、地域の状況に合わせたコミュニティ主導のプロジェクトに投資することにより、2025 年末までに世界中で 5,000 万本以上の植林を行い、維持することを目的とした当社のグローバルイニシアチブです。オーストラリア、ガーナ、インドネシア、英国、そして米国において、現在までに 1,050 万本以上の植林を実施しました。

倫理と透明性

- 3 月の国際女性デー（IWD）に賛同し、活動を行いました。しました。その一環として、アストラゼネカが女性を支援し、インクルージョン&ダイバーシティの文化を推進するために行っていることが紹介された記事「職場を超えた女性への支持」が掲載されました。そこには、アストラゼネカが社内外で実施している化学・技術・工学・数学（STEM）分野における女性のキャリア促進のための取り組みも含まれています。アストラゼネカはまた、女性と女兒が STEM キャリアに参加するための平等なアクセスの促進を目的とした日である、2 月の国連「科学における女性と女兒の国際デー」を認識しました。現在、アストラゼネカの STEM 関連職位の 39.8% を女性が占めています。
- 3 月の国連「国際人種差別撤廃デー」に賛同し、世界経済フォーラムの「ビジネスにおける人種的正義を推進するためのパートナー施策」の創設メンバーになって以来、人種的平等のコミットメントに対して行ってきた進捗状況を発表しました。
- 自閉症、感覚処理障害、その他の神経多様性を持つ人々がどのように生活しているかを体験する機会を同僚に提供した体験ラボを含む、組織横断的なイベントにより、「ニューロダイバーシティセレブレーションウィーク」を認識しました。

- アストラゼネカにおける倫理に関する従業員の視点に対する理解を深め、改善の機会を特定するために実施された、2022 年最初の従業員倫理調査の結果を報告しました。約 7,000 人の従業員が参加し、その 97%は懸念に対して声を上げる方法を知っており、88%は日常業務において正しい行いをするのは容易であると回答しました。

注：

- ¹ The COVID-19 medicines are Vaxzevria, Evusheld, and AZD3152 – the COVID-19 antibody currently in development.
- ² 恒常為替レート (Constant exchange rates, CER)。実質増減と CER 増減の差は、2023 年対 2022 年の期間中の為替変動によるものです。CER 財務指標は、報告ベース業績から為替変動の影響を取り除くため、一般に公正妥当と認められた会計原則 (GAAP) に基づく会計処理によるものではありません
- ³ 2023 年 1 月 1 日より、当グループは「売上収益」の表示を更新しました。「提携収益」と「協業収益」の表示に関わる詳細については、中間財務諸表注記事項の「作成基準および会計方針」の項をご参照ください
- ⁴ 報告されている財務指標は、英国で採用されている国際会計基準および国際会計基準審議会 (IASB) が公表している国際財務報告基準 (IFRS)、ならびに欧州連合が採用している国際会計基準に従って表示されている財務結果です
- ⁵ Earnings per share : 1 株当たり利益
- ⁶ コア財務指標は、特定の項目を除くために調整されています。報告ベースとコア財務指標との差異は、主にアレクシオン買収に関する費用、無形資産償却費、減損損失、構造改革費用によるものです。報告ベース EPS とコア EPS の調整表は、本資料の業績セクションの Table 13 に記載されています
- ⁷ Cardiovascular, Renal and Metabolism : 循環器・腎・代謝
- ⁸ Respiratory & Immunology : 呼吸器・免疫
- ⁹ Non-small cell lung cancer : 非小細胞肺癌
- ¹⁰ Hepatocellular carcinoma (HCC) : 肝細胞がん
- ¹¹ Neuromyelitis optica spectrum disorder : 視神経脊髄炎スペクトラム障害
- ¹² Human epidermal growth factor receptor 2 : ヒト上皮成長因子受容体 2
- ¹³ nirsevimab は、EU では Beyfortus の商標で承認されています
- ¹⁴ バキスゼブリアは、アストラゼネカが供給する COVID-19 ワクチンのアストラゼネカ社の商標です。本報告書の財務表では、「バキスゼブリア 総売上」には、独自の商標でアストラゼネカ COVID 19 ワクチンを製造・供給するサプライス先からのロイヤリティが含まれ、提携収益に含まれています。
- ¹⁵ モノクローナル抗体 (mAbs) : 当社の COVID-19 モノクローナル抗体は、エバシェルドと AZD3152 です
- ¹⁶ 提携収益と協業収益について、2022 年度の比較対象額はそれぞれ\$749 百万ドルおよび 604 百万ドルです
- ¹⁷ Vaccines & Immune Therapies : ワクチン・免疫療法
- ¹⁸ Table 2 において、プラスとマイナスの記号は、議論されている項目の方向性の影響を示します。例えば、研究開発費のコメントの隣にある「+」記号は、その項目が前年度に比べて研究開発費を増加させたことを意味します。
- ¹⁹ 報告売上総利益率及びコア売上総利益率の算出にあたっては、協業収益の影響を除外しています。
- ²⁰ グループが重要な継続的権益を保有していない資産および事業の処分による収入は、引き続き当社の財務諸表において「その他の営業収入および費用」に計上されます
- ²¹ Respiratory syncytial virus : 呼吸器系シンシチアルウイルス
- ²² Hereditary transthyretin-mediated amyloid polyneuropathy : 遺伝型のトランスサイレチン型アミロイドポリニューロパチー
- ²³ Hormone receptor : ホルモン受容体
- ²⁴ Taskforce on Climate-related Financial Disclosures : 気候関連財務情報開示タスクフォース
- ²⁵ イミフィンジの売上高には、イジユドの売上高が含まれています

* * * * *

アストラゼネカについて

アストラゼネカは、サイエンス志向のグローバルなバイオ・医薬品企業であり、主にオンコロジー、希少疾患、循環器・腎・代謝疾患、呼吸器・免疫疾患からなるバイオ・医薬品において、医療用医薬品の創薬、開発、製造及びマーケティング・営業活動に従事しています。英国ケンブリッジを本拠地として、当社は 100 カ国以上で事業を展開しており、その革新的な医薬品は世界中で多くの患者さんに使用されています。詳細については <https://www.astrazeneca.com> または、ツイッター@AstraZeneca (英語のみ) をフォローしてご覧ください。

日本においては、主にオンコロジー、循環器・腎・代謝、呼吸器・免疫疾患及びワクチン・免疫療法を重点領域として患者さんの健康と医療の発展への更なる貢献を果たすべく活動しています。アストラゼネカ株式会社については <https://www.astrazeneca.co.jp/> をご覧ください。フェイスブック AstraZeneca.Japan とインスタグラム AstraZeneca / アストラゼネカ もフォローしてご覧ください。

###